

宮崎市の財政状況をお知らせします



市では毎年、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかを公表しています。今回は、平成25年度決算と予算執行の概要や、現在の財政状況を紹介いたします。

[問] 財政課 ☎21-1723

皆さんの疑問にお答えします

財政課主任主事 川添 礼奈



依存財源が過半数を占め自主財源は約4割

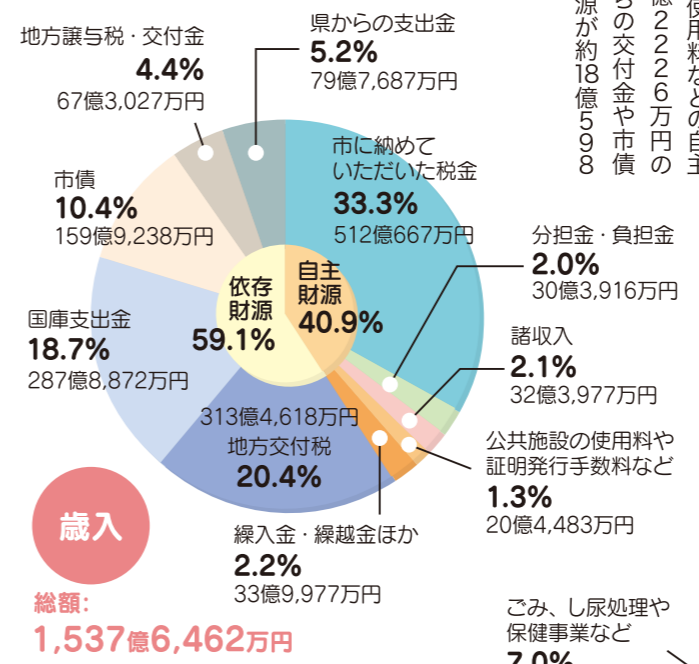
平成25年度決算は平成24年度に比べ、歳入は約5億6243万円の減、歳出は約10億363万円の減となりました。削減が難しい経費が大半を占める中、自主財源が少ないという現状です。

【歳入】市税や使用料などの自主財源が約24億226万円の減、国や県からの交付金や市債などの依存財源が約18億598

【歳出】幼児や高齢者などへの福祉サービスのための経費（民生費）や借金の返済（公債費）で55.9%を占めています。

3万円の増。自主財源の比率は平成24年度の42.3%から40.9%となりました。

■一般会計

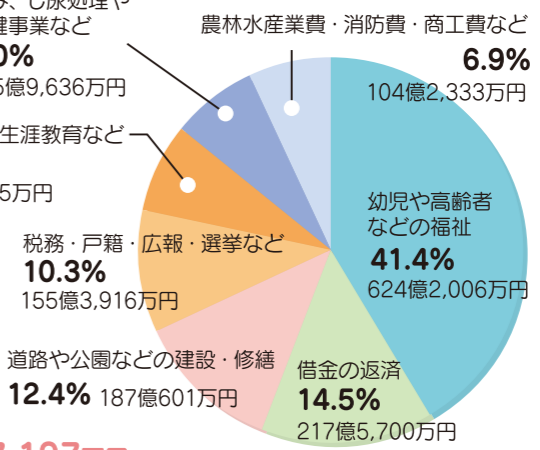


歳入

総額: 1,537億6,462万円

歳出

総額: 1,506億7,197万円



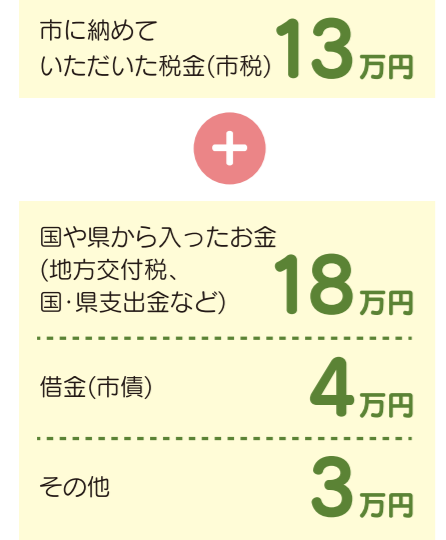
引き続き財政の健全化を進めていきます



財政課主任主事 竹下 和摩

平成25年度決算(一般会計)を市民1人に換算すると...

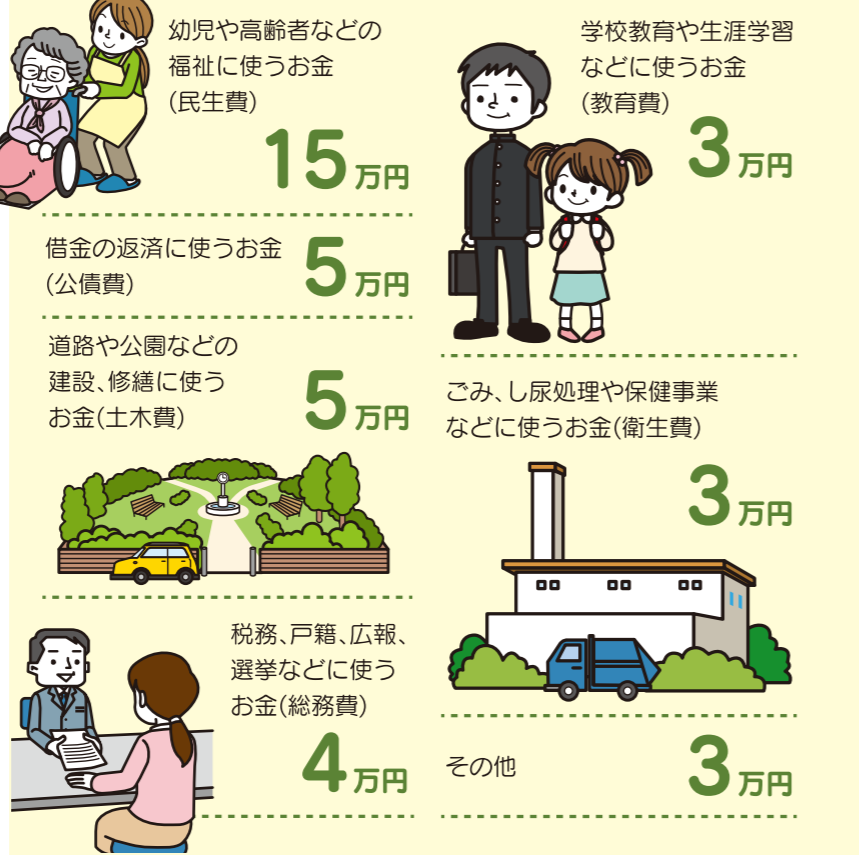
市民1人当たりの収入



市民1人当たり

38万円

市民1人当たりの支出



■特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
公営住宅建設資金	22億2,169万円	22億1,924万円
国民健康保険	454億2,573万円	456億6,654万円
後期高齢者医療	38億8,039万円	38億6,316万円
公園墓地	2億9,512万円	2億9,215万円
卸売市場	6億5,402万円	6億5,402万円
用地取得	2,576万円	2,576万円
母子寡婦福祉資金	9,073万円	1,395万円
介護保険	291億7,082万円	286億5,917万円
公設合併処理浄化槽事業	2億1,065万円	2億693万円
宅地造成事業	4億2,259万円	3億5,053万円
公債管理	247億6,221万円	247億6,221万円
合計	1,071億5,971万円	1,067億1,366万円

■企業会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
水道事業	126億4,553万円	121億8,753万円
簡易水道事業	9億2,461万円	8億9,316万円
工業用水道事業	2,452万円	2,452万円
公共下水道事業	195億9,209万円	191億8,568万円
農業集落排水事業	10億1,255万円	9億8,021万円
田野病院事業	8億4,996万円	10億3,773万円
合計	350億4,926万円	343億883万円

特別会計

国民健康保険や介護保険など、特定収入(保険料など)を財源とする会計

企業会計

上下水道や病院など、民間企業のように事業の収入で費用を賄う会計

■宮崎市中期財政計画(平成22年度～平成26年度)

市では、本当に必要な市民サービスの水準を確保しつつ、将来に責任ある、自立した財政運営を行っていくために中期財政計画を策定しています。現在の計画では、全ての目標を達成する見込みです。

財政目標	26年度見込額	達成状況
[目標①] 平成21年度と比較して市債残高150億円以上の圧縮	151億円以上圧縮	達成
[目標②] 平成26年度決算時に財政5基金残高200億円以上を確保	272億円確保	達成
[目標③] 平成22年度を基準に5年間で行政運営経費80億円以上の削減	81億円削減	達成

- Q** 何にどれくらいお金が使われているのですか?
A 幼児や高齢者、障がい者への福祉サービスなどにお金が使われています。その次が、過去の借金の返済になります。
- Q** 借金はどのくらいあるんですか?
A 平成25年度末の全会計の合計で、約3448億円になります。
- Q** なぜ借金をするのでありますか?
A 道路や公民館などの新しい施設を整備するためです。これらの施設は将来世代に引き継ぎたいです。
- Q** 市の財政は今後どうなりますか?
A 今後も福祉などにかかる民生費が増えていく見込みです。今年度策定した新中期財政計画(平成27年度～29年度)での目標を順守し、将来に責任ある、自立した財政運営を目指します。
- Q** 借金の返済は進んでいますか?
A 中期財政計画の目標達成に向け、借金の残高は減っています。今後もさらに減少する見込みです。
- Q** 代も利用することから、将来世代にも公平に費用を負担してもらうために借金をし、世代間で調整をしています。